

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 99

2016年3月15日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、富田 靖正 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「産学連携学会第14回大会（浜松大会）」を開催します
2. 「平成27年度 産学共同研究成果発表会 ～地域の課題を解決する～」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「産学連携学会第14回大会（浜松大会）」を開催します

産学連携学会（浜松大会）を下記の要領で開催いたします。
たくさんの方々のご発表・ご参加をお待ちしております。

【開催の趣旨・目的】

産学連携学会は、産学連携に従事する人、産学連携を必要とする人、産学連携を支える人、産学連携に関心のある人すべてを対象とし、産学連携学の確立及び産学連携の発展をとおして、学術や技術の促進と豊かで個性と活性に富んだ社会構築に寄与することを目的として活動しています。

産学連携に関する諸課題について、産学官の学識経験者や実務家などが広く交流し、相互に啓発しあう場として、下記により第14回年次大会を開催します。学会員はもとより産学連携に関心のある方々の多くの参加をお願い申し上げます。

【日 時】

2016年6月16日（木）、17日（金）

【会場と概要】

(1) 会場

○アクトシティ浜松
研修交流センター・コンgresセンター
〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1
TEL 053-451-1111
URL <http://www.actcity.jp/>

○情報交換会（16日（木）18：30～20：00）
オークラアクトシティホテル浜松
〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町111-2
TEL 053-459-0111
URL <http://www.act-okura.co.jp/>

(2) プログラム構成

- 1) 特別講演
- 2) シンポジウム
- 3) 一般講演
- 4) オーガナイズドセッション
- 5) ポスターセッション

(3) 大会参加費

正会員/個人法人	(予約)	5,500円	(非予約)	6,000円
正会員/学生	(予約)	2,500円	(非予約)	3,000円
非会員	(予約)	8,000円	(非予約)	9,000円

(4) 情報交換会参加費

正会員/個人法人	(予約)	5,000円	(非予約)	6,000円
正会員/学生	(予約)	2,500円	(非予約)	3,500円
非会員	(予約)	5,000円	(非予約)	6,000円

【参加登録期間・要旨提出期限】

- 1) 発表・参加登録期間 1月28日(木)～4月7日(木)
- 2) 発表要旨提出期限 4月14日(木)

産学連携学会ホームページから「大会情報」にお進みいただき、「WEBからの申込」フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。お申込ができない場合は、大会事務局までご連絡ください。

産学連携学会ホームページ

産学連携学会 第14回大会 開催案内

http://www.j-sip.org/annual_meeting/14th_2016/14th_index.html

【組織】

大会事務局

国立大学法人静岡大学

産学連携学会第14回大会実行委員会

大会長 伊東 幸宏(静岡大学長)

副大会長 今野 弘之(浜松医科大学医学部附属病院院長)

実行委員長 木村 雅和(静岡大学イノベーション社会連携推進機構長)

【お問い合わせ】

産学連携学会第14回大会実行委員会事務局

E-mail: sangaku2016[at]cjr.shizuoka.ac.jp

Tel: 053-478-1702 Fax: 053-478-1711

2. 「平成27年度 産学共同研究成果発表会 ～地域の課題を解決する～」のご案内

静岡市産学交流センターでは、地域の産業が抱える身近な課題を解決するため、中小企業者等と大学が共同で取り組む「地域課題に係る産学共同研究」を公募し、採択された7テーマを平成27年7月より実施して参りました。

これらの取組内容を多くの方々に知っていただくこと、その成果をご活用していただくことを目的に、産学共同研究成果発表会と成果品の展示・交流会を開催いたします。

【日時】2016年3月17日(木) 13:30～17:30

【会場】B・nest静岡市産学交流センター6階 プレゼンテーションルーム

【参加費】 無料

【プログラム】

第1部 成果発表会 13:30~16:30

基礎コース

- 発
査
1. 静岡家具の将来を担う革新的な木材の曲げ加工を活用した木材インテリア商品の開発
 2. 障害者福祉施設内における障害児（者）移動システム
 3. ムスリム観光誘致と産業活性化に向けて、静岡におけるハラールフードに関する調査
 4. 【脳の積極活動】の為の声と音と香りの木工模型の商品開発

応用コース

- 発
5. オクシズヒノキ材を用いた木質調音パネルの開発
 6. 緑茶の機能性を強化する新たな飲料の開発
 7. 多段階式硝化反応を用いた食品加工廃棄物からの植物栽培用液肥製造システムの開発

第2部 展示・試食・交流会 16:30~17:30

【詳細】 <http://www.b-nest.jp/itaku/>

【主催】 B・nest 静岡市産学交流センター

【申込・問合せ先】

B・nest 静岡市産学交流センター

TEL: 054-275-1655 FAX: 054-275-1656

E-mail: info[at]b-nest.jp

《 みんなのコラム -93- 》

記：学術院工学領域 化学バイオ工学系列 准教授 富田靖正

私は以前より、固体内をイオンが高速で運動することができる物質について、物性と構造の関連性を研究してきました。それらの物質や物性解析手法の応用例の一つとして電池があり、酸化還元が可能な物質は正極および負極活物質として、イオンが固体内で動く（拡散する）ことができる物質は固体電解質として、電池に応用することができます。

当初は学術的な興味から研究対象としていましたが、工学部においては応用を意識して研究を進めることが重要であることから、固体電解質を二次電池の電解質として使用し、全固体二次電池を開発しようというテーマに着手したことで、共同研究がスタートしました。2000年代前半の時期に、5年、10年程度のスパンではなく、まずは基礎研究を進め、20~30年後に電池として市場に出ていれば成功といった認識を企業の方と共有していました。風呂敷を大きく広げられることが大学での研究のいいところという言葉もありました。

もう一つの課題が正極活物質の開発であり、このテーマは、企業間の競争が激しいこともあり、

比較的短期間で成果を求められます。幸い、ある程度の物性を示す化合物を発見できたため、継続的に研究を進められていますが、実用化・製品化にはまだまだクリアしなければならないことが多くあり、それまでに厳しい道のりが待っていることを感じています。

短期的・長期的な共同研究の両方を進めてきましたが、どちらも得るものは多く、自身の研究の進行や深まりを得られたこともあります。また、共同研究の場に学生が参加することで、就職に向けた意識を高められたことや、社会人ドクターの入学に繋がったことも共同研究の付加的な貢献ということができると思います。

こういった共同研究はイノベーション社会連携機構の方々の助けをお借りしつつ進めることができます。大学と企業との包括提携をもとに始まった共同研究もあり、産業界のニーズに対して大学の研究を役立てていただくことにつながれば幸いと思い、研究を進めております。今後もより一層のご協力、ご支援を下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<< 編集後記 >>

この度、静岡大学で平成27年度「静岡大学産学連携奨励賞」「はましん産学連携大賞」授賞式を執り行いました。

「静岡大学産学連携奨励賞」は、産学連携の観点からより一層の発展が期待される研究シーズを有する静岡大学の研究者へ送られます。静岡大学の社会連携のより一層の活性化を目指すために創設されております。

「はましん産学連携大賞」は、本趣旨に賛同いただいた浜松信用金庫が創設されたものです。浜松信用金庫は、以前から地域企業との産学連携推進により地域活性化に尽力されており、本学とは連携協定を締結しております。

平成27年度の受賞者として、静岡大学産学連携奨励賞 最優秀賞に学術院工学領域 機械工学系列の朝間淳一先生、優秀賞に学術院農学領域 共生バイオサイエンス系列の切岩祥和先生、はましん産学連携大賞に学術院工学領域 機械工学系列の静弘生先生が選ばれました。受賞された先生方の、今後の活躍を期待しております。

静岡大学では研究・教育の成果を社会貢献の一環として地域の発展に役立てていただくために、センター・オブ・コミュニティの拠点として、そして地域のセンター・オブ・イノベーションの拠点となるよう努力して参ります。

* — *

しずだい産学連携メールマガジンVol199

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 行 者

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：谷口悠里

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1413

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *

Copyright (c) 2008-2016

Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved